

「全国ブロック会議」の報告（概要）

行政説明のポイント

- ・基幹相談支援センター、地域生活支援拠点等、自立支援協議会、という 3 要素の役割が明確化された。
- ・都道府県協議会には広域的見地等から区市町村を支援するという役割が明確になった。
- ・都道府県に基幹相談支援センターの整備を促進するためのアドバイザーを設置した。
- ・地域生活支援拠点等は、地域移行の推進役という役割を担い、横串をさすという意味で拠点コーディネーターが果たす役割が重要である。
- ・人口の少ない自治体ほど、助言やバックアップが必要である。

好事例のポイント

- ・官民・当事者等の参画を得ている協議会は、活発な活動が行われている。
- ・組織運営体制について柔軟な見直しが行われている。

関東ブロック報告のポイント

- ・東京都以外の自治体においては、市町村協議会が 100%設置されている。
- ・動向集のようなかたちで市町村協議会の全体像を把握しているのは東京都だけであり、複数の自治体から東京都の取り組みを参考としたいという話があった。

・

その他

- ・会議に出席したから終わりということではなく、学んだことをフィードバックして取り組みを進め、その成果を次年度に報告していただくような流れとしたい。

詳細については、参考資料をご覧ください。